

NST の介入により改善された褥瘡患者の 1 症例

尾鷲総合病院 NST & CP Complex(NCC)¹⁾, 栄養管理部²⁾, 外科³⁾, 看護部⁴⁾
藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座⁵⁾

小栗きくみ¹⁾²⁾, 東口高志¹⁾⁵⁾, 加藤弘幸¹⁾³⁾, 野中由香¹⁾⁴⁾, 森本咲子¹⁾⁴⁾

野澤由美¹⁾⁴⁾, 川口 恵¹⁾⁴⁾, 世古 容子¹⁾²⁾

今回われわれは、褥瘡持ち込み患者に対し栄養管理をすることで褥瘡の改善を認めた症例を経験したので報告する。

症例は、68 歳男性。ASO と慢性腎不全を基礎疾患とする血液透析患者であり、今回肺炎を併発し当院内科に入院となった。身長 170cm、体重 47kg、BMI 16.3 であった。入院時より臀部と右大転子部に褥瘡を認めた。入院時は全身状態が不良であったが、頻回の血液透析と、肺炎治療にて病態は改善した。しかし褥瘡は改善せず NST および NST 褥瘡チームが介入することとなった。

入院時、褥瘡の評価は、臀部、大転子部ともに DESING 7 点であった。肺炎改善病態安定までに臀部 DESING 1 3 点、大転子部 1 4 点に悪化した。その後整形外科にてデブリートメント、皮弁形成術を施行されるも改善には至らなかった。この時、経口摂取量は 1 日 600~700kcal 前後と少なく、体重の減少も認めた。血清 Alb 値も 2.2mg/dl であった。NST により、食事内容が変更され、褥瘡治癒促進効果が期待されるアルギニン滋養飲料(アルジネード)1 日 2 本と分岐鎖アミノ酸含有の濃厚流動食(メディエフアミノプラス)1 日 1 本を組み合わせ、経口摂取量として 1 日 1300kcal(蛋白質 60g)の投与が可能となった。その結果、褥瘡部に良性の肉芽形成を認めるようになった。その後、メディエフアミノプラスを 3 系脂肪酸や CoQ10 含有の多い栄養調整食(ライフロン QL)に変更して食事療法を継続した。経口摂取量は安定し、低アルブミン血症や貧血の改善をみるとともに ADL の改善も認めた。臀部、大転子部の褥瘡は DESING 11 点となった。

自験例は、チーム医療の必要性が認識され NST の介入によって褥瘡および ADL の改善がみられた 1 例である。各種栄養剤の特性を熟知し適切な栄養療法が提供できた症例と思われた。